

# 防衛北海道

Bouei Hokkaido  
December 2012  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense



Vol.25



Photo: 北海の荒波の中を高速航行するミサイル艇「わかたか」  
(海上自衛隊 余市防備隊 提供)

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**  
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

# 紋別市で防衛問題セミナー開催

9月27日、北海道防衛局は紋別市民会館において、「国連平和維持活動（PKO）について～演奏と講演の夕べ～」と題して防衛問題セミナーを開催しました。

自衛隊による国際協力活動は、ペルシャ湾への海上自衛隊掃海部隊の派遣から本年度21年が経過し、また、国際平和協力法に基づくカンボジアへの陸上自衛隊施設部隊の派遣から20年を迎えております。

道内で22回目の開催となった今回のセミナーは、これらの活動について、防衛省・自衛隊が取り組んできた内容や体験談を紹介し、更に理解を深めていただくことを目的に開催しました。

冒頭、島川正樹 北海道防衛局長の挨拶の後、来賓の 宮川良一 紋別市長から御挨拶を頂きました。

次いで、北海道防衛局主催の防衛問題セミナーでは初めての試みとして、航空自衛隊三沢基地に所在する北部航空音楽隊の音楽演奏を行いました。

東日本大震災における慰問活動で演奏した行進曲「希望の空」やドラマの主題歌になった「ありがとう」など、オホーツクの海に響き渡るような8曲を演奏し、また、音楽隊と来場者がふれあうコーナーも設けられ、来場者からは、「さすが北部航空音楽隊、感動した」、「楽しく過ごさせてもらった」といった声を頂きました。



島川 正樹 北海道防衛局長の挨拶



宮川 良一 紋別市長の御挨拶



音楽隊の司会者と来場者とのふれあい



変則木管五重奏



金管五重奏

演目  
 行進曲「希望の空」  
 インスタントコンサート  
 アンサンブル 変則木管五重奏  
 ありがとう  
 カーペンターズメドレー  
 アンサンブル 金管五重奏  
 北国の春  
 坂本 九メドレー  
 また君に恋してる  
 A列車で行こう

防衛問題セミナー  
 国連平和維持活動(PKO)について～演奏と講演の夕べ～



総勢34名による演奏

# 国連平和維持活動（PKO）について ～ 演奏と講演の夕べ～

その後、陸上自衛隊第25普通科連隊長兼ねて遠軽駐屯地司令 野村 悟 1等陸佐が、「国連平和維持活動（PKO）について」と題し、陸上自衛隊による国際協力活動の目的や、平成22年に発生した大地震により大きな被害を受けたハイチ共和国における第6次ハイチ派遣国際救援隊長としての体験談や現地での活動の状況について講演しました。その中で駐屯地所在の遠軽町長などが遠くハイチまで激励に来られ、自衛隊が地域の方々に支えられていることに改めて感動したことや、日本を出て初めて日本の素晴らしさを感じたことを熱く語りました。

最後に、参加者から寄せられた「ハイチへの日本部隊の派遣期間」や「派遣される部隊の決定方法」、「実際に持っていった小火器だけで大丈夫か」といった質問に対し、野村司令から丁寧な回答が行われました。

今回は、遠軽駐屯地から離れた紋別市での開催となりましたが、当日は、202名の方が来場され、熱心に耳を傾けていただき、セミナー終了時には、来場していただいた皆様から自衛隊の活動に対して盛大な拍手を頂きました。



第25普通科連隊長兼ねて遠軽駐屯地司令  
野村 悟 1等陸佐による講演



熱心に聞き入る来場者

## 北海道防衛局 新幹部紹介

企画部長 越智 文隆



9月10日付けで、北海道防衛局企画部長を拝命しました越智です。

26年振り、2回目の北海道勤務で、懐かしさで一杯です。人よし、自然よし、食べ物よし、の北海道で、地域の方々とよくコミュニケーションをとり、一緒に汗を流し、先人が営々と築いてきた防衛省と地域の方々との信頼関係を更に強くすることで、北の守りの基盤づくりに尽力したいと思います。皆様の御指導、御助言よろしく申し上げます。

# 森本防衛大臣から感謝状贈呈



10月13日、平成24年度防衛大臣感謝状贈呈式がグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で行われました。これは自衛隊記念日行事の一環として、防衛協力功労や自衛官募集等で功績のあった方々を表彰するもので、今年度は個人64名、67団体に 森本 防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

北海道防衛局関係では、防衛協力功労者として 水沼 猛 氏（別海町長）に贈呈されました。

## 町立別海病院の防音改築事業

10月1日、別海町の町立別海病院が防音改築工事を終え、開院しました。

この病院は、別海町の人々に広く利用されている重要な施設であり、矢臼別演習場での射撃等による騒音を防止又は軽減し、環境の改善を図るため、別海町が防衛省の補助を受け、防音改築事業として工事を行っていたものです。

なお、CT装置などの医療機器類についても調整交付金事業により、その一部を当省が補助しています。

新病院は鉄筋コンクリート造3階建てで、外壁や屋根を旧病院よりも厚くし、外窓に気密性の高い防音サッシを、内装には吸音性のある材料を使用。さらに、建物の気密性が増すことから、防音機能を付加した空気調和設備を設置し、防音化を行いました。

また、地域の中核的医療の充実や災害時の医療活動の強化に対応させるべく、延床面積は旧病院の約1.5倍（6,385㎡）、病床数は84床となっています。

なお、開院の前日には、陸上自衛隊第5旅団第27普通科連隊（釧路駐屯地）及び同第5後方支援隊（帯広駐屯地）の救急車4両と隊員約30名が、地元消防署員とともに旧病院から入院患者45名を迅速に搬送しました。



正面玄関側外観



入院患者の搬送

（写真提供：（左）別海町、（右）陸上自衛隊第5旅団）

## 平成24年度方面隊戦車射撃競技会

～現有編成装備の戦闘力を最大限発揮できる練度の維持～



行進しながら射撃する戦車小隊

北部方面隊（総監 岩田陸将）は、平成24年10月26日から30日の間、北海道大演習場島松地区において、「各師団・各旅団及び第1戦車群の戦車射撃能力の向上を図る。」ことを目的に平成24年度方面隊戦車射撃競技会を実施しました。

本競技会は、90式戦車の部及び74式戦車の部で実施し、移動目標・遠距離目標・同時多目標・同時異目標に対し、行進又は躍進しながら射撃する小隊戦闘射撃（1個小隊、戦車4両）により、射撃の精度・速度及び小隊長の射撃指揮等、その練度を評価しました。

90式戦車の部では、第2戦車連隊（第2師団）、第71・72・73戦車連隊（第7師団）、第5戦車大隊（第5旅団）、第11戦車大隊（第11旅団）のほか、東部方面隊から第1機甲教育隊（静岡県御殿場市）が参加し、計39個小隊（戦車156両）が、連隊・大隊対抗の部、中隊対抗の部、小隊対抗の部及び直接支援の部により、74式戦車の部では、第1戦車群及び第7偵察隊（第7師団）の計5個小隊（戦車20両）が、小隊対抗により戦車射撃の技を競い合いました。

参加した各小隊は、部隊の名誉を懸けて日頃の訓練成果を遺憾なく発揮するとともに、更なる練度の向上を誓いました。

競技会の成績は次のとおりです。

- 90式戦車の部（優勝）
  - ・ 連隊・大隊の部 第72戦車連隊
  - ・ 中隊対抗の部 第72戦車連隊第2中隊
  - ・ 小隊対抗の部 第2戦車連隊第3中隊第1小隊
  - ・ 直接支援部隊の部 第7後方支援連隊第2整備大隊第2戦車直接支援中隊
- 74式戦車の部（優勝）
  - ・ 小隊対抗の部 第1戦車群第303中隊第2小隊



躍進し射撃する90式戦車



部隊の声援を受け競技開始位置に前進する戦車小隊



躍進し射撃する74式戦車

北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズで御紹介しています。

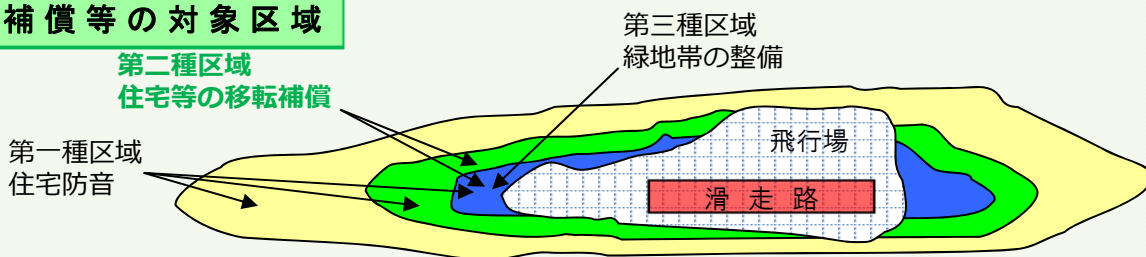
## ■ 移転措置事業（飛行場周辺）

自衛隊等の航空機の離陸、着陸等の頻繁な実施により生ずる音響に起因する障害が特に著しい区域（第二種区域）において、当該区域指定の際現に所在する建物等の所有者等が第二種区域外への移転や土地の買入れを希望するときは、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（環境整備法）第5条の規定に基づき、建物等（建物、立木竹、その土地に定着する物件）の移転補償や土地の買入れを実施しています。

### 対象となる防衛施設

### 千歳飛行場

### 移転補償等の対象区域



(注) 第1種区域、第2種区域、第3種区域  
飛行場等の周辺で航空機の騒音に起因する障害の度合に応じて次のように定める。

- 第1種区域：WECPNL75以上の区域
- 第2種区域：第1種区域内で、WECPNL90以上の区域
- 第3種区域：第2種区域内で、WECPNL95以上の区域

■WECPNL (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level：加重等価継続感覚騒音基準)  
ICAO (国際民間航空機構) で提案された航空機騒音を総合的に評価する国際的な単位であり、特に夜間の騒音を重視し、音響の強度、頻度、継続時間等の諸要素を加味して、人の生活に与える影響を評価する航空機騒音の単位である。

### 移転補償等の対象

#### ・建物等の移転補償について

区分	内容
1 建物	居宅、付属家、事務所などで、電気設備、給排水設備を含む。
2 工作物 (※1)	門、塀、井戸など
3 立木竹 (※1)	庭木、生垣など
4 動産 (※2)	屋内動産 (家具、衣類など)、一般動産 (自転車、農機具など)
5 移転雑費	法令上の諸手続経費、就業不能補償、先地選定費、移転通知費など
6 営業補償	一時休業に伴う補償など

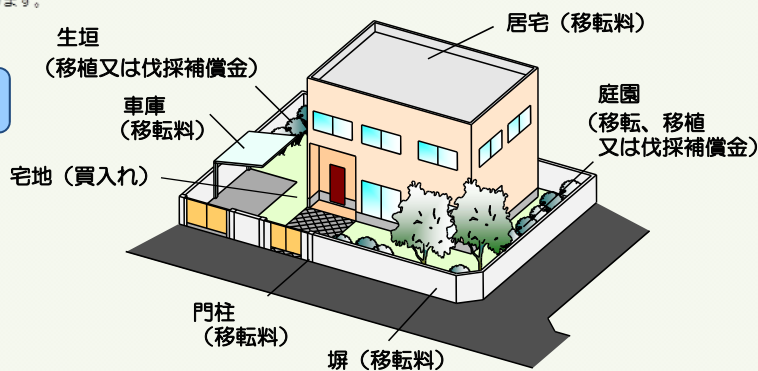
#### ・土地の買入れについて

区分	買上げの対象となる土地
第二種区域内 (第三種区域を除く。)	宅地 (第二種区域指定の際宅地であるものに限る。) 防衛省の移転補償を受けることとなる者が、当該補償に係る建物等の移転により、その建物等の所在する土地以外の土地でその者の所有に属するものを従来の利用目的に供することが著しく困難となる土地
第三種区域内	全ての土地

※1 第二種区域 (第三種区域を除く) における工作物及び立木竹については、建物と一体として利用されているものに限ります。

※2 借家人の動産を含みます。

### 移転補償等説明図



# ■ 移転措置事業（演習場周辺）

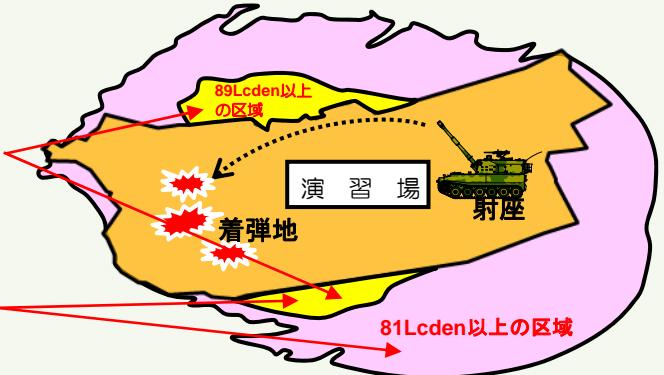
自衛隊等の砲撃を主とする射撃、爆撃その他火薬類の使用の頻繁な実施により生ずる音響に起因する障害が特に著しい区域（移転補償区域）において、当該区域指定の際現に所在する建物等の所有者等が移転補償区域外への移転や土地の買入れを希望するときは、演習場周辺の移転補償等の実施に関する訓令（平成19年防衛省訓令第111号）に基づき、建物等（建物、立木竹、その土地に定着する物件）の移転補償や土地の買入れを実施しています。

**対象となる防衛施設** 矢臼別演習場、北海道大演習場

## 移転補償等の対象区域

**89LCDEN(90WECPNL相当)以上の区域**  
住宅等の移転補償及び土地の買入

**81LCDEN(75WECPNL相当)以上の区域**  
住宅防音



■LCdenとは「Day Evening Night Average C Weighted Sound Pressure Level」（C特性時間常補正等価音圧レベル）の略で、砲撃音騒音の「うるささ」を表す単位です。  
航空機騒音の評価方法にならない、1日に発生した砲撃音の総エネルギー量を1日で平均し、砲撃音の特性である衝撃性や低周波の影響の補正を行ったものです。

## 移転補償等の対象

### ・建物等の移転補償について

区分	内容
1 建物	居宅、付属家、事務所などで、電気設備、給排水設備を含む。
2 工作物（※1）	門、塀、井戸など
3 立木竹（※1）	庭木、生垣など
4 動産（※2）	屋内動産（家具、衣類など）、一般動産（自転車、農機具など）
5 移転雑費	法令上の諸手続経費、就業不能補償、先地選定費、移転通知費など
6 営業補償	一時休業に伴う補償など

※1 工作物及び立木竹については、建物と一体として利用されているものに限ります。

※2 借家人の動産を含みます。

### ・土地の買入れについて

区分	買上げの対象となる土地
移転補償区域	宅地（移転補償区域指定の際宅地であるものに限る。）
	防衛省の移転補償を受けることとなる者が、当該補償に係る建物等の移転により、その建物等の所在する土地以外の土地でその者の所有に属するものを従来の利用目的に供することが著しく困難となる土地
	上記に掲げる土地以外の土地で、防衛省が当該土地の隣接地を買い入れることにより、従来の利用目的に供することが著しく困難となる土地

# ■ 移転先地の公共施設整備の助成

多くの方々がまとまって同一の地区への移転を希望され、その移転希望地において、道路、水道及び排水施設などの公共施設の整備が必要な場合には、環境整備法第5条等に基づき、その整備を行う地方公共団体等に対して助成を行っています。



## 集団移転前後の移転元地・先地の状況



## 地方公共団体等に防衛白書を説明

北海道防衛局は、我が国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、より多くの国民の皆様にご理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図ることを目的として、陸・海・空自衛隊及び自衛隊地方協力本部と連携し、道内地方公共団体（道、市町村等195団体）や関係団体などに対し、平成24年版防衛白書の紹介及び概要の説明を行いました。



島川 北海道防衛局長の北海道(多田 副知事)への説明



平成24年版防衛白書の内容については、防衛省のホームページに詳しく掲載されています。  
( <http://www.mod.go.jp/> )

## 講師、派遣します

北海道防衛局では、防衛政策及び自衛隊の活動等、防衛省・自衛隊が行っている各種業務について、道内の地方公共団体や学校等から講演などの御要望があれば職員を派遣し、講演や説明を行います。

御要望、お問合せがございましたら、お気軽に下記連絡先まで御連絡ください。

【連絡先】北海道防衛局 企画部 地方調整課 地方協力確保室  
TEL : 011-272-7571



## 12月の道内自衛隊の主なイベント

(11月6日現在)

開催日	開催場所	イベント名	お問合せ	
12月 1日(土)	湧別町文化センター TOM	遠軽自衛隊 第14回定期演奏会	遠軽駐屯地広報班	0158-42-5275
12月 2日(日)	千歳市民文化センター	千歳基地 クリスマスコンサート	第2航空団 監理部広報室	0123-23-3101
12月 6日(木)	滝川文化センター	滝川自衛隊音楽まつり 2012	滝川駐屯地広報班	0125-22-2141
12月 8日(土)	帯広市民文化ホール	第5音楽隊 ファミリーコンサート	第5旅団広報班	0155-48-5121
12月 9日(日)	留萌市文化センター	留萌駐屯地音楽まつり	留萌駐屯地広報班	0164-42-2655
12月14日(金)	旭川市民文化会館	第2音楽隊 第37回定期演奏会	第2師団広報室	0166-51-6111
12月15日(土)	函館市民会館 大ホール	函館駐屯地 クリスマスコンサート	函館駐屯地広報	0138-51-9171
"	千歳市民文化センター	千歳市音楽まつり	道央地区自衛隊 協力連合会	0123-24-0147
12月22日(土) 予定	岩見沢駐屯地	岩見沢駐屯地 創立記念行事	岩見沢駐屯地広報班	0126-22-1001